



2026年4月30日

各 位

会社名 株式会社カラダノート
代表者名 代表取締役 佐藤 竜也
(コード番号：4014 東証グロース)
問合せ先 執行役員 CFO 兼 コーポレート本部長
高埜 伸一郎
(TEL 03-4431-3770)

よくある質問と回答 (2026年4月)

日頃より、当社へのご関心を賜りありがとうございます。

当社 IR 活動に関連して、投資家様からお電話やメール等で個別にお問い合わせをいただくことがございます。基本のご質問に対しては、可能な限り速やかに個別にご回答させていただきますが、投資家様への情報発信の強化およびフェアディスクロージャーの観点から、頂戴した主要なご質問とその回答について、下記の通り公表させていただきます。

通常、決算発表の翌月（10月、1月、4月、7月）に公開しております。回答内容には時点のずれにより多少の齟齬が生じる可能性がございますが、その時点での最新の当社方針として公表いたします。

質問1 (2026年7月期第二四半期 業績について)

第2四半期業績のポイントを教えてください。

第2四半期では、売上高2億5,700万円（前四半期比21.4%増）、営業利益5,500万円（同65.4%増）と大幅な増益を達成しました。特に金融領域の売上比率が60%を超え、ARPUが前四半期比で25%増と大きく伸長したことが収益性改善の主因です。また、構造改革を経て利益体質が確立し、営業キャッシュ・フローもプラスに転じております。

質問2 (通期業績について)

通期業績予想の達成確度はどう考えていますか？

上期の営業利益進捗率は約36%ですが、これは当社の事業構造が下期に収益が偏重するモデルであるため、想定通りの推移です。下期は、CRMツールの刷新による既存データベースからの再アクションの最大化や、金融・教育・ライフイベント領域の拡張により、通期目標の着実な達成を目指してまいります。

質問3（住友生命保険相互会社との提携について）

住友生命保険相互会社との取り組みは現在どうなっていますか？

非保険サービスの獲得を含むKPIが過去最高を更新するなど、提携は極めて順調に推移しております。想定以上のペースで進捗したため、足元ではさらなる成長に向けた基盤整備を優先する深化フェーズにあります。これは、取り組みの幅をさらに広げ、中長期的な全体の拡大を目指すための前向きなプロセスと位置づけております。

質問4（住友生命保険相互会社との提携について）

住友生命保険相互会社との協業は他社にも横展開できますか？

可能です。住友生命様との協業で確立した潜在層のニーズを先取りするモデルは再現性が高く、既に複数の大手事業者様からも同様の取り組みに関するご相談をいただいております。現時点で具体的にお伝えできる内容はございませんが、今後も保険のみならず、住宅・終活・キャリアといった幅広いライフイベント領域において、大手事業者との戦略的提携を加速させてまいります。

質問5（株式会社FP0について）

株式会社FP0子会社化の目的は何ですか？

目的は、金融領域の強化による企業価値向上です。FP0社が持つ安定したストック収益を土台に、両社が有する募集資格や顧客基盤、ノウハウ等を統合することで、グループ全体の収益率向上を図ります。また、店舗型ライフイベント関連企業のOMO化という再現性のあるロールアップ戦略を確立させたいとも考えております。

今後も、投資家の皆様との対話を深め、中長期的な企業価値向上に取り組んでまいります。

■問い合わせ先

株式会社カラダノート

IR担当メールアドレス：ir@karadanote.jp

■IRウェブサイト：<https://corp.karadanote.jp/ir>

最新の決算短信や決算説明資料などの決算情報、情報や株主総会関連資料のほか、個人投資家様向けのページなどをご用意しております。

■サステナビリティページ：<https://corp.karadanote.jp/sustainability>

当社のマテリアリティマップや、環境、社会、ガバナンスに関する取り組みをご紹介します。

■IRメールマガジン登録：<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSccFipEzHZ014nd712jzRksnMumr-RbscesZZTGgzZ3WdCwYQ/viewform>

適時開示や当社からのニュースを随時ご案内いたします。

以上